

# 開催スケジュール & 講座内容

**WEB開催** 2021年 **6月1日** (火) ① 13:00~15:00 (ログイン開始12:30より) ② 16:00~18:00 (ログイン開始15:30より) **16日** (水) ③ 10:00~12:00 (ログイン開始 9:30より) ④ 13:00~15:00 (ログイン開始12:30より) ⑤ 16:00~18:00 (ログイン開始15:30より) **28日** (月) ⑥ 10:00~12:00 (ログイン開始 9:30より) ⑦ 13:00~15:00 (ログイン開始12:30より) ⑧ 16:00~18:00 (ログイン開始15:30より)

講座	内容	講師
第1講座	<b>介護施設におけるICT活用の意義</b> 介護施設において業務効率化をどのように行なうのか？ その際にICTをどのように活用するのか？ ということについてお伝えします。	株式会社 船井総合研究所 地域包括ケア支援部  マネージャー 沓澤 翔太
<b>実践企業の特別講演</b> 第2講座	<b>ICTの活用による収益率UP成功事例</b> ICTを活用した際に得られた経営的メリットと 現場での具体的な運用方法についてお伝えします。	芙蓉開発 株式会社  事業本部長 <b>前田 俊輔氏</b>
第3講座	<b>ICTを活用した業務効率化の具体的手法</b> 業務効率化をどのように進めるか？ また、ICTの具体的な活用手法について その手順についてお伝えします。	株式会社 船井総合研究所 地域包括ケア支援部  <b>三浦 基寛</b>
第4講座	<b>明日から実践していただきたいこと</b> 実施にあたってのスケジュールと優先順位について お伝えします。	株式会社 船井総合研究所 地域包括ケア支援部  マネージャー 沓澤 翔太

**受講料** 一般価格 税抜15,000円(税込16,500円)/1名様 会員価格 税抜12,000円(税込13,200円)/1名様

## ゲスト講演

医療法人 芙蓉会 代表・理事  
芙蓉開発 株式会社 事業本部長

**前田 俊輔氏**

前田 俊輔 (まえた・しゅんすけ) 1968年、福岡県福岡市生まれ。2007年より病院経営に携わり、「医療難民の救済」を掲げ、病院改革を進める。2008年に遠隔健康管理システム「安診ネット」を開発し、2012年に福岡初となる重度要介護者専用の老人ホームを開設してシステムを導入。高齢者の病気の早期発見と重症化予防に高い実績をあげる。また、実業家としてだけでなく、平成29年度厚生労働科学研究主席研究員、令和2年日本医療研究開発機構 (AMED) 事業：研究代表者など、その活動は多岐にわたり、厚生労働省・国土交通省への政策提言や、医療AIの開発など、全国的に注目を集めている。2008年に医療法人芙蓉会 代表、2015年に社団法人日本遠隔医療介護協会 理事長就任。



## 講師プロフィール



株式会社 船井総合研究所  
地域包括ケア支援部  
マネージャー **沓澤 翔太**

デイサービス、特別養護老人ホーム、有料老人ホームなどの新規開設、収支改善、異業種からの介護事業への新規参入支援などを手がける。現在は、主としてデイサービスや有料老人ホームの利用者獲得や新規開設を中心にコンサルティングを行っている。介護事業のコンサルティングの他、療養病床の転換や訪問診療など、医療業界のコンサルティングや、医療器具の販売促進についても実績を持つ。



株式会社 船井総合研究所  
地域包括ケア支援部 **三浦 基寛**

介護業界のコンサルティングに特化。介護施設・有料老人ホームの「業務標準化」「スタッフ定着・離職防止」「リーダー・管理者育成」を中心とした組織づくりや生産性向上のコンサルティングを得意とする。人手不足・採用難時代の中で、経営者・事業部長・管理者・リーダーといった法人内の各階層の役職メンバーを巻き込みながら、成功事例を基に手堅くコンサルティングを実施している。

**介護報酬改定を踏まえた対策! LIFEへの対応!**  
**ICTによる重度化防止の実績のある先行事例から学ぶ**

# 重度化防止アウトカム ICT活用による 収益向上セミナー

**WEB開催** 2021年 **6月1日** (火) ① 13:00~15:00 (ログイン開始12:30より) ② 16:00~18:00 (ログイン開始15:30より) **16日** (水) ③ 10:00~12:00 (ログイン開始 9:30より) ④ 13:00~15:00 (ログイン開始12:30より) ⑤ 16:00~18:00 (ログイン開始15:30より) **28日** (月) ⑥ 10:00~12:00 (ログイン開始 9:30より) ⑦ 13:00~15:00 (ログイン開始12:30より) ⑧ 16:00~18:00 (ログイン開始15:30より)

- ▶ AIトリアージ機能で早期発見!→重度化防止予防で入院数や入院日数が減少し、稼働率が91%から97%に向上!
- ▶ 記録業務・情報共有の効率化により労働時間14%減少!
- ▶ 経常利益で創業以来3年間赤字から5000万円の黒字化に成功! その後、1億円までUP!(KPI管理法)

## このような経営者様にオススメ

- ✓ 入院日数を短縮し、さらに高い稼働率を目指したい
- ✓ 職員の能力のバラツキの悩みを解消し、業務標準化したい
- ✓ 収益状況が見える化し、収益アップを考えている
- ✓ 現場状況が見える化し、人員配置を適正化したい
- ✓ LIFEの自立支援・重度化防止の具体的事例が知りたい

## 特別講演

医療法人 芙蓉会 代表・理事  
芙蓉開発 株式会社 事業本部長

**前田 俊輔氏**

成功の秘訣詳細は中面へ

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さま、および関係者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

主催 **Funai Soken** 明日のグレートカンパニーを創る **TEL.0120-964-000** 平日 9:30~17:30 株式会社 船井総合研究所 〒541-0041 大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研大阪本社ビル  
お問い合わせNo.S072551  
お申込みに関するお問合せ: 時田(トキタ) 内容に関するお問合せ: 三浦 基寛(ミウラ モトヒロ)

WEBからお申込みいただけます。(船井総研ホームページ[www.funaisoken.co.jp]右上検索窓に「お問い合わせNo.」を入力ください。) → **072551**

# 介護施設でのICT活用による収益向上の成功事例を特別公開

特別ゲスト  
講師

芙蓉開発 株式会社 (福岡県)

## Q1 なぜICTを導入しようと思ったのですか？

労務の課題解決のためです。当時スキルの高い看護師ばかりを揃えることが難しかったため、経験が浅い看護師が受け持つ時間帯では、観察レベル(適切な観察・相談・対応)にばらつきが出ていました。それにより見落としや対応が遅れると、状態悪化の医療リスクが発生するため、要介護度が高い入居者(=医療必要度の高い)は受けられなくなります。要介護度が低い対応しかできないと介護報酬にも影響し、収益にも影響が出ていました。また夜勤介護職員から重度入居者に対する不安で離職が発生していたので、ICTを活用し、医療情報を医師や看護師と共有し安心感を持たせることで、職員の負担軽減する必要がありました。



## Q2 ICT導入について、何から着手しましたか？

上記の課題を解決するICTが無かったため、「ICT健康管理システム・安診ネット」を開発・導入しました。しかし当時「安診ネット」には介護記録機能は無かったので、最大手の介護記録ソフトを購入しました。ですが、現場はどのソフトも紙での記録より作業時間と手間がかかるとして、その後2社の介護記録ソフトを導入しましたが、定着には至りませんでした。そこで、現場が「紙」を用いずに、本当に効率化する介護記録システムまで独自開発するしかないと考えました。



## Q3 ICTを活用し、実施を目指したことはなんですか？

『健康観察業務の均一化』と『介護記録業務の効率化』です。健康観察については、バイタルスコアリングAI機能を加え、医療介入の必要性を88%の精度で知らせてくれることを実現したことが大きな特徴です。これにより看護師のスキルに依存せず『高水準の健康管理』が可能になり、自然と自立支援・重度化防止のアウトカムが出るようになり、学会は発表するに至りました。介護記録業務の効率化については、現場から「紙での記録が便利、楽」と10回以上駄目出しを受け、その度に改良を加え、簡単、かつ紙記録に比べ作業時間を大幅に短縮するシステムを完成するに至りました。今では現場から「無いと絶対に困る」と言われています。(紙記録より少々良くなる程度では現場は変えれないと実感しています。)



## Q4 ICTを活用し、どのようなことをやっていますか？

日々バイタルを測定すれば自動で送信→熟型表が作成され、そのデータからAIが赤・黄・緑とトリアラージを出し、看護師の観察や医師の介入が必要かどうかを知らせてくれます。そのため、ベテラン看護師にしかできない観察・判断業務を、全看護師が実施可能になり早期発見・重度化防止につながっています。情報共有の観点でもトリアラージが各職種の共通言語となり、同じ画面を見ることで職種を超えてご利用者の状況の共通理解が可能になりました。また記録業務についても、生活記録はタッチパネルで一括入力でき、食事量・水分量・排便量など科学的介護に必要なデータの自動計算、看護師記録への自動反映、支援経過記録の自動作成(異常データを記録)、ワンタッチで転記により、職員一人あたり1日約1時間の記録業務省力化を実現できました。

## Q5 ICT活用によってどんな成果が出たのでしょうか？

定員60名の住宅型有料老人ホームでは、経常利益ベースで創業以来3年間赤字でしたが、2015年には5000万円の黒字化に成功しました。黒字化の理由としては、『安診ネット』により要介護度が高い(=客単価がアップ)入居者を受け入れられるようになったこと。重度の方の紹介が増えて稼働率(=客数がアップ)が上がったこと。そして「職員配置」が見える化し適正人員とした(=人件費の適正化)ことです。移転した定員100名の介護付有料老人ホームでも同じ手法で、2017年~2019年の経常利益1億円以上を維持できています。『安診ネット』の経営分析システムでは、KPI(重要業績評価指数)としている「稼働率」「職員配置」がワンタッチで「見える化」され、事務局と現場と共有できますので、それぞれが改善策をスピーディに実践することが可能になりました。『安診ネット』を導入した関東の施設では、AIトリアラージを活用し早期発見した結果、入院数と入院日数が減り、2年間で平均稼働率が91%から97%に向上し、大幅黒字になったと聞いています。



## Q6 今後の介護報酬に対する対策で意識されていることはありますか？

介護保険始まって以来の大変革に対し、私たち経営者

にとって、報酬確保による事業存続が至上命題です。「科学的介護」の導入は、利用者を重度化させた方が報酬が上がる矛盾を正す厚労省の本気の改革のようです。以後要介護度に代わり、自立支援・重度化防止が評価される可能性がある中、その指標としてBI(バーサルインデックス)が採用されました。報酬額と手間だけ考えると「合わない」という声も聞きますが、今回の同時改正で、アウトカムにより報酬が大きく変わる可能性があり、既に「ADL維持等加算」は成功報酬型となっています。この加算はBIの改善だけでなく、維持でも点数が加点されます。当施設では「安診ネット」により、「要介護度の軽減」の実績があり、早期発見→重度化防止により、「ADL維持等加算II」が取れますし、今後の増収も期待できます。やっとアウトカムが認められる時代が来たという思いです。更に入院期間の短縮(=介護報酬減の抑制)も全国から報告されていますし、『安診ネット』によるDXが重要と考えています。ピンチをチャンスにしていきたいです。



## このような経営者様にオススメ

- ✓ 入院日数を短縮し、さらに高い稼働率を目指したい
- ✓ 職員の能力のバラツキの悩みを解消し、業務標準化したい
- ✓ 収益状況が見える化し、収益アップを考えている
- ✓ 現場状況が見える化し、人員配置を適正化したい
- ✓ LIFEの自立支援・重度化防止の具体的事例が知りたい

## 本セミナーで学べるポイント

- ✓ AI活用による看護師の高品質な重度化対応の方法
- ✓ ICT等を活用した時間を生み出す業務効率化の方法
- ✓ 経営状況(収支や人員配置等)の見える化による業績UP方法



## 事業所紹介

事業本部長	前田 俊輔氏
所在地	福岡県大野城市
職員数	82名 常勤職員48名 非常勤職員34名

## 運営する病院・介護施設

- 筑紫南ヶ丘病院
- 介護付有料老人ホーム  
メディカルケア南ヶ丘



ご入金確認後、マイページの案内をもってセミナー受付とさせていただきます。

## ICTによる業務効率化セミナー

お問合せNo. S072551

### 開催要項

オンラインにてご参加 ※各回、同じ内容です。ご都合のよい日時をお選びください。

2021年 **6月1日**(火)

- ① 開始 **13:00** ▶ 終了 **15:00** (ログイン開始12:30より)  
② 開始 **16:00** ▶ 終了 **18:00** (ログイン開始15:30より)

お申込期限: 5月28日(金)

2021年 **6月16日**(水)

- ③ 開始 **10:00** ▶ 終了 **12:00** (ログイン開始 9:30より)  
④ 開始 **13:00** ▶ 終了 **15:00** (ログイン開始12:30より)  
⑤ 開始 **16:00** ▶ 終了 **18:00** (ログイン開始15:30より)

お申込期限: 6月12日(土)

2021年 **6月28日**(月)

- ⑥ 開始 **10:00** ▶ 終了 **12:00** (ログイン開始 9:30より)  
⑦ 開始 **13:00** ▶ 終了 **15:00** (ログイン開始12:30より)  
⑧ 開始 **16:00** ▶ 終了 **18:00** (ログイン開始15:30より)

お申込期限: 6月24日(木)

日時・会場

本講座はオンライン受講となっております。諸事情により受講いただけない場合がございます。ご了承ください。オンラインミーティングツール「Zoom」を使用いたします。Zoomご参加方法の詳細は「船井総研 web参加」で検索

受講料

**一般価格** 税抜 15,000円 (税込16,500円) / 一名様

**会員価格** 税抜 12,000円 (税込13,200円) / 一名様

●お支払いが、クレジットの場合はお申込み手続き完了後の案内(メール)をもって、セミナー受付とさせていただきます。銀行振込の場合はご入金確認後、お送りする案内(メール)をもってセミナー受付とさせていただきます。●銀行振込の方は、税込金額でのお振込みをお願いいたします。お振込みいただいたにも関わらずメールがお手元に届かない場合や、セミナー開催4営業日前までにお振込みできない場合は、下記お申込み担当者へご連絡ください。なお、ご入金を確認できない場合は、お申込みを取消させていただく場合がございます。●ご参加を取り消される場合は、開催3営業日(土・日・祝除く)前まではマイページよりキャンセルをお願い致します。それ以降は下記事務局宛にメールまたはお電話にてご連絡ください。尚、ご参加料金の50%を、当日の欠席は100%をキャンセル料として申し受けますのでご注意ください。

●会員価格は、各種経営研究会・経営フォーラム、および社長onlineプレミアムプラン(旧:FUNAIメンバーズPlus)へご入会中のお客様のお申込に適用となります。

お申込方法

下記QRコードよりお申込みください。クレジット決済が可能です。受講料はWEB上でご確認いただけます。  
または、船井総研ホームページ([www.funaisoken.co.jp](http://www.funaisoken.co.jp))、右上検索窓にお問い合わせNo.072551を入力、検索ください。

お問合せ

明日のグレートカンパニーを創る  
**Funai Soken 株式会社 船井総合研究所**

**TEL 0120-964-000** (平日9:30~17:30)

●お申込みに関するお問い合わせ: 時田(トキタ) ●内容に関するお問い合わせ: 三浦 基寛(ミウラ モトヒロ)

お申込みはこちらからお願いいたします

### <オンライン受講>

**6月1日(火)**

申込締切日 5月28日(金)

**6月16日(水)**

申込締切日 6月12日(土)

**6月28日(月)**

申込締切日 6月24日(木)

